

阪神・淡路大震災復興資金と 「財団法人阪神・淡路震災復興基金」 の役割

林 敏彦

(財)ひょうご震災記念21世紀研究機構

復興資金と復興基金

1

• 復興資金の規模

2

• 復興資金の出所

3

• 「震災復興基金」

4

• 住宅再建と復興基金

阪神・淡路大震災

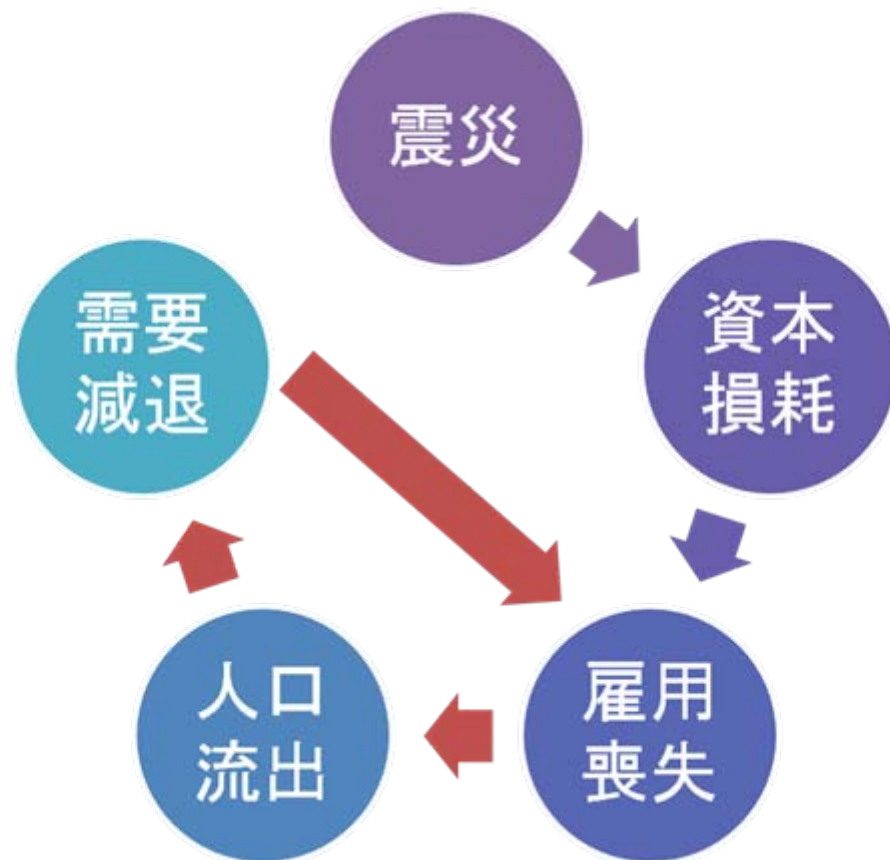
- 1995年1月17日 午前5時46分
- マグニチュード 7.3
- 死者 6,434人
- 負傷者 40万人
- 損壊家屋 25万棟
- 被災家族 45万世帯
- 避難者 最大30万人

大震災の経済的被害

直接被害	9兆9,268億円
建物	5兆8,000億円
港湾設備	1兆0,000億円
商工業設備	6,300億円
高速道路	5,500億円
ガス・電気	4,200億円
鉄道	3,439億円
学校等	3,352億円
その他	8,477億円

大震災の間接的経済被害

- 地域GDP損失 2兆6,000億円



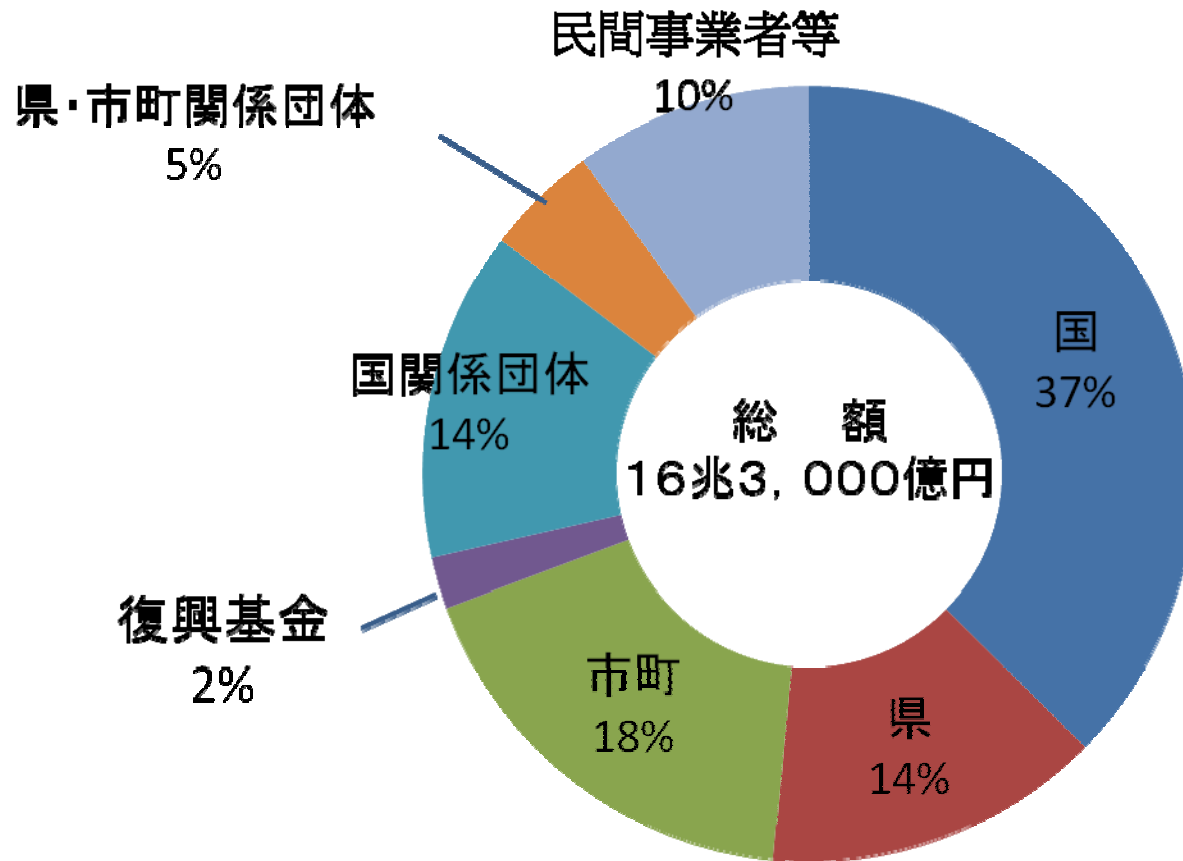
復興費用

- 95年からの5年間に増加した兵庫県GDP
(復興のための追加需要) 7兆7,000億円
- そのうち70%は民間部門による
(国・県・市の負担は30%)

復興計画の総事業費

総事業費	16兆3,000億円
福祉のまちづくり	2兆8,350億円
文化豊かな社会づくり	3,700億円
産業復興	2兆9,500億円
都市防災	3,150億円
市街地整備等	9兆8,300億円

復興事業費の負担



年度別復興事業費

